

ばらんす

編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3番3号 ☎0287-23-8718 FAX0287-24-2528

第21回男女共同参画社会を考えるつどい

平成17年1月23日(日)大田原市総合文化会館ホールにおいて『男女共同参画社会を考えるつどい』が開催されました。

報告会



第3回大田原市女性の海外研修派遣団の皆さん

講演



講師：広岡守穂先生

中央大学法学部教授/NPO推進ネット理事長

海外研修のあゆみ

年度	研修先
13	フランス・ドイツ
14	フランス・オランダ
15	中止(新型肺炎流行のため)
16	フランス・イタリア

つどい参加者のアンケートから

参加者数376名(男性96名・女性280名)
 回答者数140名(男性37名・女性100名・無回答3名)

Q本日の「つどい」の内容はいかがでしたか?

区分	良かった	普通	良くなかった (無回答)
報告会	75.0%	22.1%	2.9%
講演	82.1%	4.3%	13.6%

わたしの一言

海外研修報告会

・今後、皆さんの活動や何をやっていくかを聴きたかった。
 ・女性問題は沢山あるが、諦めずに言い続けることが大切と感じた。
 ・女性が一歩前進することは社会の進歩につながるのでも良かった。

講演

・共同参画の意味が少し分かった気がする。帰ったら是非夫に話してみたい。
 ・男女共同参画社会では自分育ての必要性を感じた。話の中で自分の子についてあれだけ詳しく語る父親は少ないだろう。感動した。

男女共同参画社会づくりに対する意見

・各企業にいくに理解してもらったか、また家庭の理解も大切。
 ・市条例が地に着き、実になる社会を築けるように皆で協力しましょう。
 ・市内でも男女共同参画社会についての理解者が少ないので、啓発活動をすべき、おおいに推進したい。
 ・立派な条例ができ、いかに実践に結びつけるかが課題。一人ひとりの意識啓発を図り条例のような男女共同参画社会を望む。

大田原市が「男女共同参画を推進する条例」を制定したことを知っていますか?



・知っている 69.3%
 ・知らない 30.5%
 ・無回答 0.2%

変えた日

講師：広岡守穂先生

はじめ
等の立場
見つめ、
てくれる
であり、
支えあう
真の男女
社会で



広岡先生は学生結婚をし、アルバイト・子育てもしながら大学に通い、五人のお子さん達を育てました。子育てがお互いの自分育てにつながったと、ユーモアを交えての体験談は大変解りやすく、うなずくことも多く、講演会は膝を交えての談笑会のようにでした。
講演内容をイラストで順におつてみま

いいわー。
まぶしく
見えるよ。

1

日常生活の中で、自分勝手な言葉や、態度をとってませんか？



私達はゆっくりしたいから、高い料金を払って、新幹線のグリーン車に乗っているんだ。子供を泣かせるな!!



母親も一生懸命やっているんだ見守ってやれよー。

いサインに気付いていますか？

2

子育ては妻の仕事と思っていないませんか？



家族揃って出かけても、外食しても、つまらない!!

今度の休みには家族皆で出かけよう。妻もきっと喜ぶぞ。

妻は子供と一緒に幸せなんだろう。



~女と男のいい関係~

妻が僕を

5

妻をバックアップして夫自身の自分育てにつなげた



ま

人間は対
で自分を
認め、求め
人が必要
お互いを
ことが、
共同参画
ある。

3

妻が自分育てをした

私は自分一人だけの
時間がほしいの!
半日でも1時間でも!
新聞をゆっくり読む
だけでもいいのよ。

な~んだ。
言ってくれば
いいのに。 夫

私は
言

4

そうか!妻は自分育てがしたいのだと気付いた

